

被仏



指定区分	県指定重要文化財(彫刻)
読みかた	かぶりぼとけ
所在地	瀬戸内市牛窓町千手 遍明院
指定年月日	平成12年3月28日
解説	木造、彩色で、像高197.5cm。県指定重要無形民俗文化財でもある弘法寺練供養に用いられてきたものである。阿弥陀如来の相をとり、全体を寄木造にして胎内を空洞化し、下部の穴から人が頭を挿し込んで被り、胎内中程の2本の棧を肩にかけて歩行することができる。前胸には小さな覗き穴が二つ開けてある。13世紀後半の制作と考えられる。
アクセス方法	
公開状況	
設備	
備考	